（別紙３）

訓練実施結果報告書（様式例）

施設名	グループホーム　〇〇
実施日時	令和３ 年 ９ 月 １ 日　８ 時００分 から １０ 時００分 まで
実施場所	施設１階ロビー　→　〇〇小学校
想定災害（該当する□にチェックをする。）	☑ 洪水　□土砂災害　□高潮　□津波 □ その他の災害（　　）
訓練種類・内容（該当する□にチェックをする。）	□ 図上訓練　☑ 情報伝達訓練 □ 避難経路の確認訓練　☑ 立退き避難訓練 □ 垂直避難訓練　□ 持ち出し品の確認訓練 □ その他（　　） （訓練内容を適時自由記載） 〇〇川が避難判断水位に達した想定で、利用者を実際に立退きさせる訓練を行った。また、日勤職員の出勤に合わせて、管理者から職員に対する情報伝達訓練及び参集訓練を実施した。訓練時は、〇〇町会長に同席いただいた。
訓練参加者・参加人数	従業者（全員・一部）　１５ 名（うちパート・アルバイト　７ 名） 施設利用者（全員・一部）　９ 名（うち通所者　　名） その他訓練参加者：施設利用者の家族　　名 地域の協力者　１ 名 〇〇町会長 その他　　名
訓練実施責任者	職　管理者　氏名　〇〇　〇〇
確認事項	□ 避難支援に要した人数　　名　☑ 避難に要した時間　１ 時間 ００ 分 ☑ 避難先や避難経路の安全性 その他 ご家族様の緊急連絡先の再確認
訓練によって確認された課題とその改善方法等	【課題】 入居者様は普段から車いすで生活されているため、移動に時間がかかるので、~~早めに対応~~しなければならないことがわかった。 〇〇小学校に行くまでに急な橋があるため、車いすを押すことが大変だった。 【改善方法】 高齢者等避難が発令される目安となる氾濫警戒情報及び大雨警報を随時確認し、災害時の判断指標とするよう、全職員に周知する。 〇〇小学校のほか、法人内の他施設で受け入れできることを調整した。 垂直避難も検討をし、次回の実施とする。
訓練記録作成者	職　計画作成担当者　氏名　〇〇　〇〇

全ての訓練を一度に行うのではなく様々な種類の訓練を分けて複数回行う等訓練を継続することが重要です

消防団や近隣の企業、地域住民、利用者の家族等の参加を得て実施するよう努めてください

「早め」といった抽象的な表現でなく、高齢者等避難の発令時など具体的に定めてください。

橋があるということは、川の氾濫のリスクがあります。本当に立退き避難でよいか再確認する必要があるかもしれません。他施設への移送や垂直避難等も検討してください。

●ご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

・対象事業所や報告書提出に関すること　介護保険課　事業者係　048-259-7293（直通）
・避難等の専門的な分野に関すること　危機管理課　防災係　048-242-6357（直通）